

マーチャント・バンカーズ株式会社

平成25年3月期 決算説明資料

平成25年6月21日

マーチャント・バンカーズ株式会社

代表取締役社長兼COO 古川令治

(大阪証券取引所 第2部 証券コード 3121)

Copyright (c) MBK Co., Ltd. All rights reserved.



Ⅰ．当社グループの事業の現況と見通し

1. 当期(平成25年3月期)における取り組み

(単位:百万円)

	24/3 実績	25/3 実績	26/3 予想
営業利益	△458	△92	62
MB事業	△88	55	143
OP事業	△174	45	43
MF事業	16	△27	21
全社費用	△211	△165	△145
経常利益	△467	△80	48
当期純利益	△669	16	25
年間配当 (円/株)	2円	2円	1円

平成25年3月期における 報告セグメントごとの取り組みの概要

■ マーチャント・バンキング事業(MB事業)

- セグメント利益55百万円確保(前年同期は損失88百万円)
- 保有不動産の売却による収益実現
- 不動産3件(新築賃貸マンション等)新規取得
- 太陽光発電所2案件(岡山、群馬)の発掘、進捗

■ オペレーション事業(OP事業)

- セグメント利益45百万円確保(前年同期は損失174百万円)
- 震災の影響があった前期から大幅に業績改善
- 不採算事業所撤退の効果大
(「ヴィラ北軽井沢エルウイング」ほか、計7店舗撤退)
- 「加古川プラザホテル」の新規運営開始、収益貢献

■ マニュファクチュアリング事業(MF事業)

- セグメント損失27百万円(前年同期は利益16百万円)
- 設備投資需要振るわず受注不振、大口案件中止
- 販売体制強化、製品改良、生産効率の向上、仕入コストの削減など地力強化に注力

平成25年3月期の配当

- 年間配当2円/株(期末配当のみ)

2. 次期(平成26年3月期)の見通し

(単位:百万円)

	24/3 実績	25/3 実績	26/3 予想
営業利益	△458	△92	62
MB事業	△88	55	143
OP事業	△174	45	43
MF事業	16	△27	21
全社費用	△211	△165	△145
経常利益	△467	△80	48
当期純利益	△669	16	25
年間配当 (円/株)	2円	2円	1円

平成26年3月期における 報告セグメントごとの業績の見通し

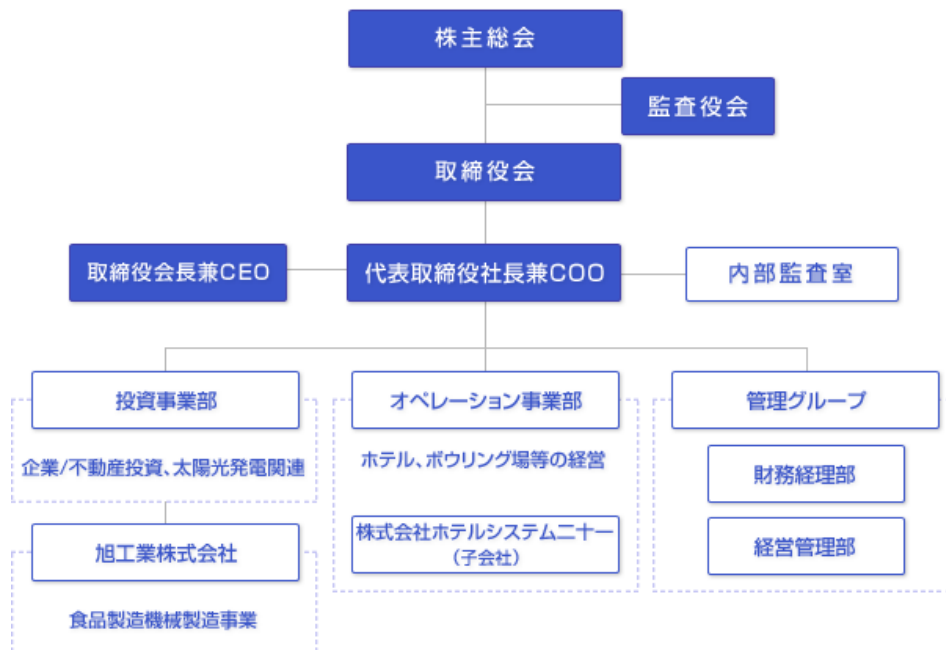
- マーチャント・バンキング事業(MB事業)
 - 保有不動産からの安定した賃貸収入
 - アドバイザリー案件の成約期待
 - 太陽光発電所2案件の収益化
 - セグメント利益143百万円確保の見通し
- オペレーション事業(OP事業)
 - 事業所異動は一段落、既存事業所の収益でこ入れに注力
 - セグメント利益43百万円(のれん償却前利益64百万円)確保の見通し
- マニュファクチュアリング事業(MF事業)
 - 大口受注契約し、4月以降生産ラインが順調に稼働
 - セグメント利益21百万円(のれん償却前利益50百万円)確保の見通し

平成26年3月期の配当予想

- 年間配当1円/株(期末配当のみ)に減配の予想
- 配当総額22百万円となり、当期純利益予想25百万円に見合う水準

3. 効率性を追求したシンプルな経営体制

組織図



営業部門の体制

役職名	氏名	主な担当業務
代表取締役社長兼COO	古川 令治	投資案件の総指揮
取締役会長兼CEO	トミー・ウォン	海外投資案件
執行役員投資事業部長	田邊 隆一	投資事業及びマニュファクチャリング事業を主管
執行役員社長補佐	一木 茂	国内外のM&A案件

管理部門の体制

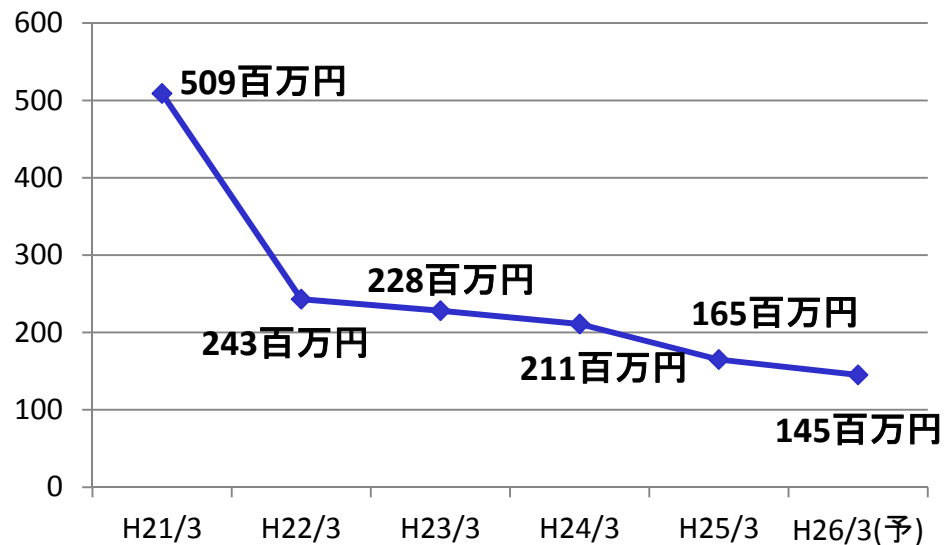
役職名	氏名	主な担当業務
取締役CFO兼財務経理部長	宮毛 忠相	ファイナンス、会計、開示
執行役員経営管理部長	副島 良太	経営管理全般 オペレーション事業を監督

- ◆ 取締役3名の最小限の経営体制
- ◆ 営業部門は社長以下「全員フロント」として各案件に直接従事
- ◆ 組織構成を簡略化、統括部門は東京本社に集約し効率的な業務運営

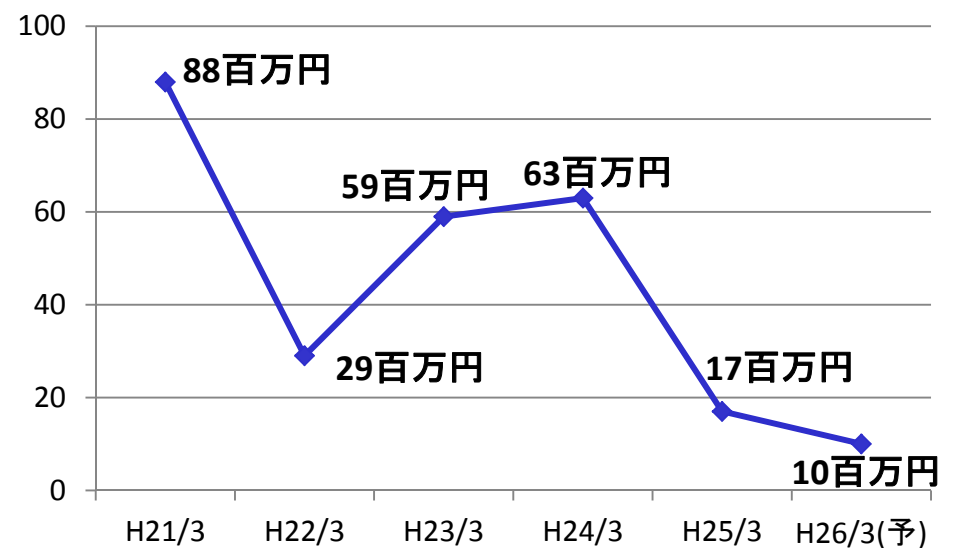
4. これまで5年間にわたるコスト削減の取り組み

- ◆ 過去5年間、業容縮小に合わせた管理職層の削減、支出全般の見直し
- ◆ 次期(平成26年3月期)はさらに本社部門経費を20百万円削減する見通し

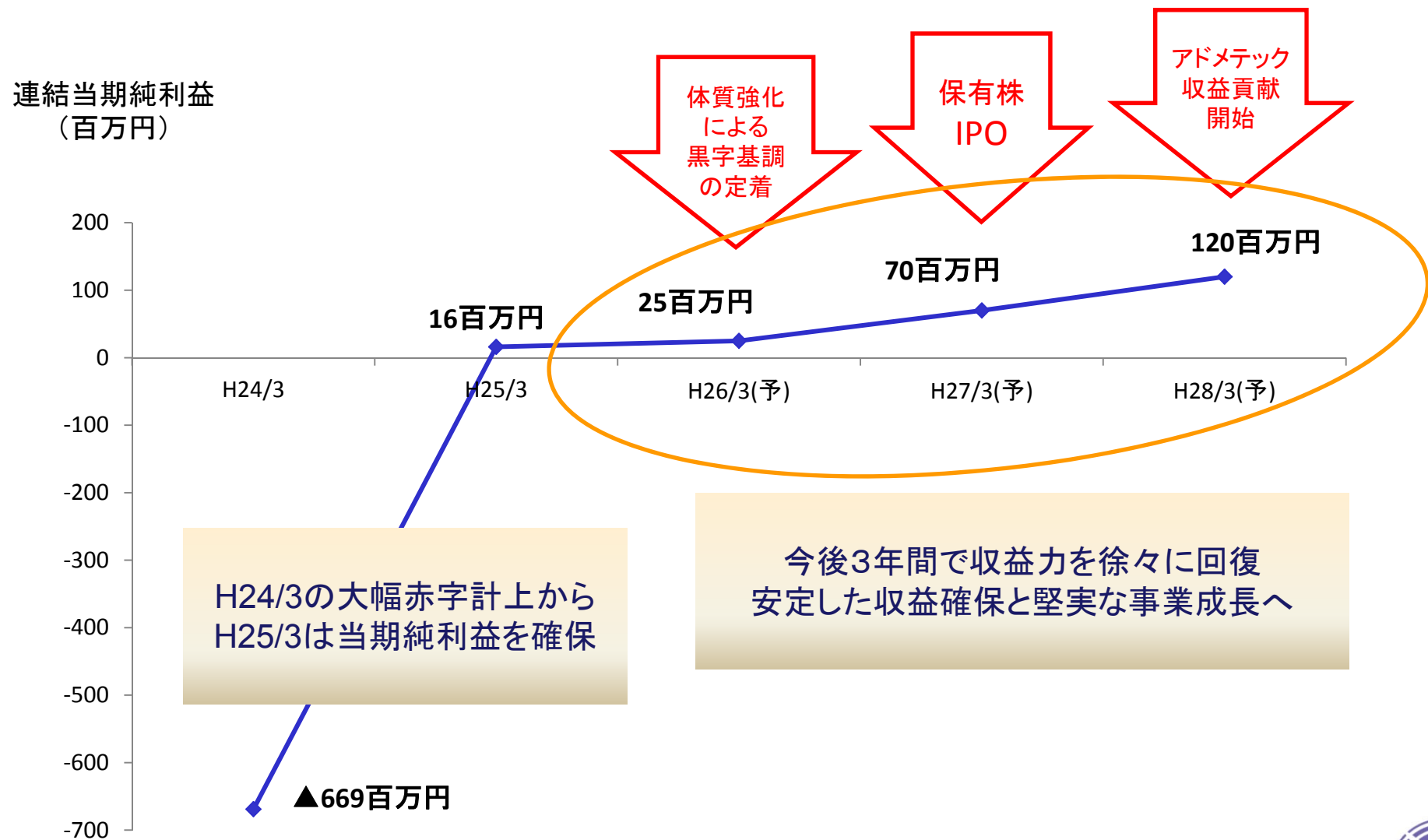
(参考)
本社部門経費の推移(概算値)



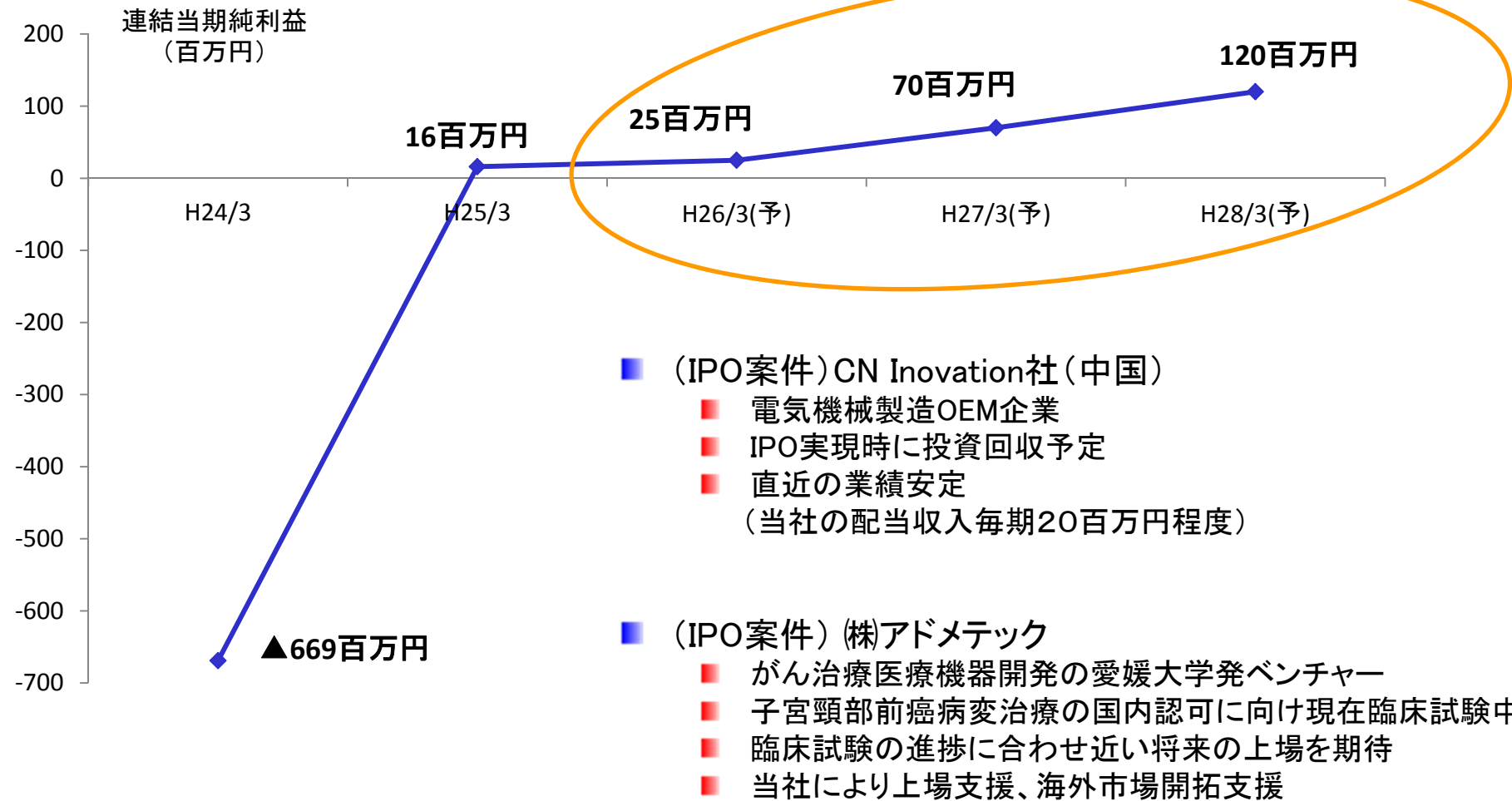
(参考)
役員報酬総額の推移(事業報告ベース)



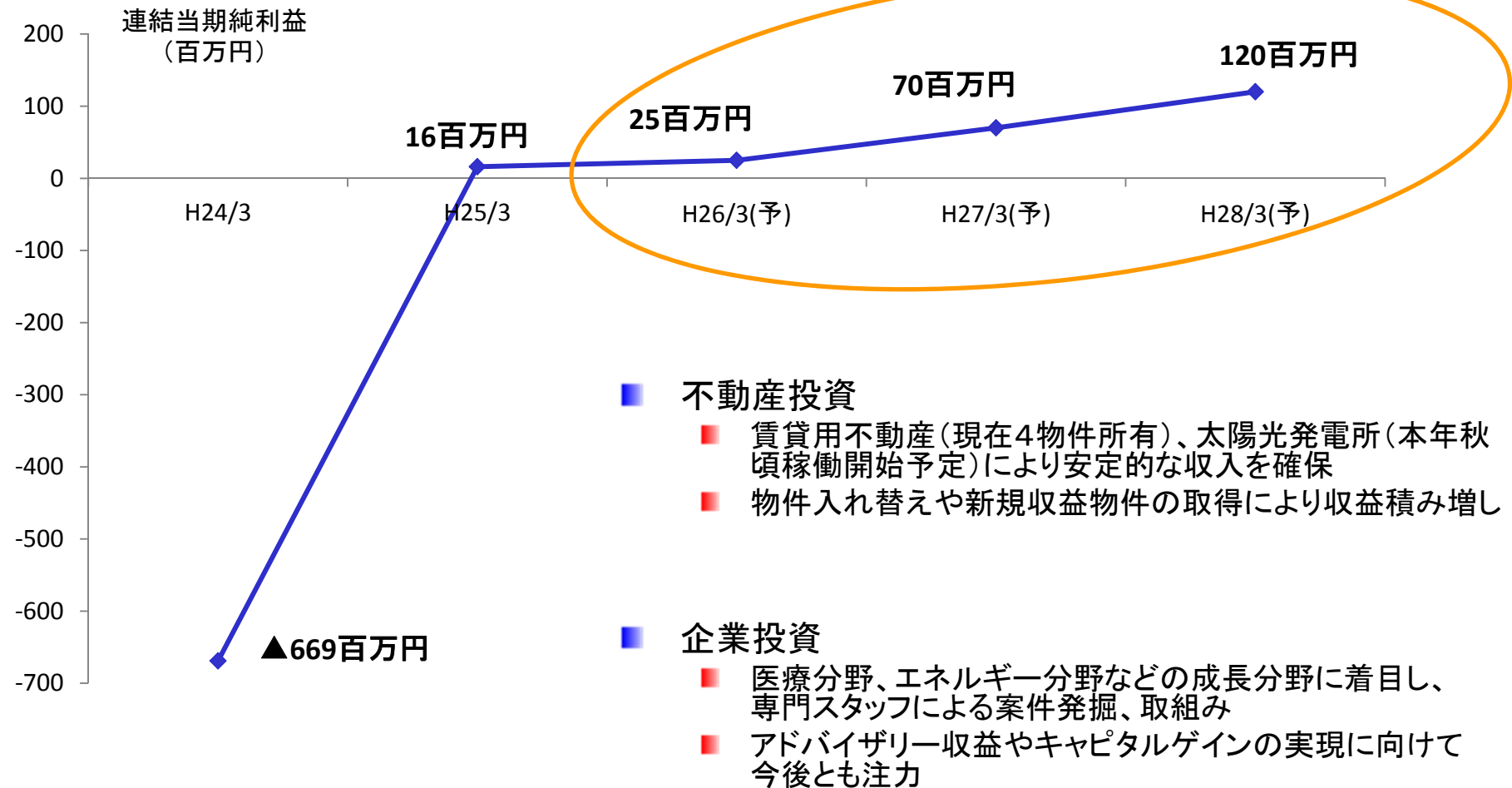
5. 今後の事業の見通し ① 連結当期純利益の推移及び見通し



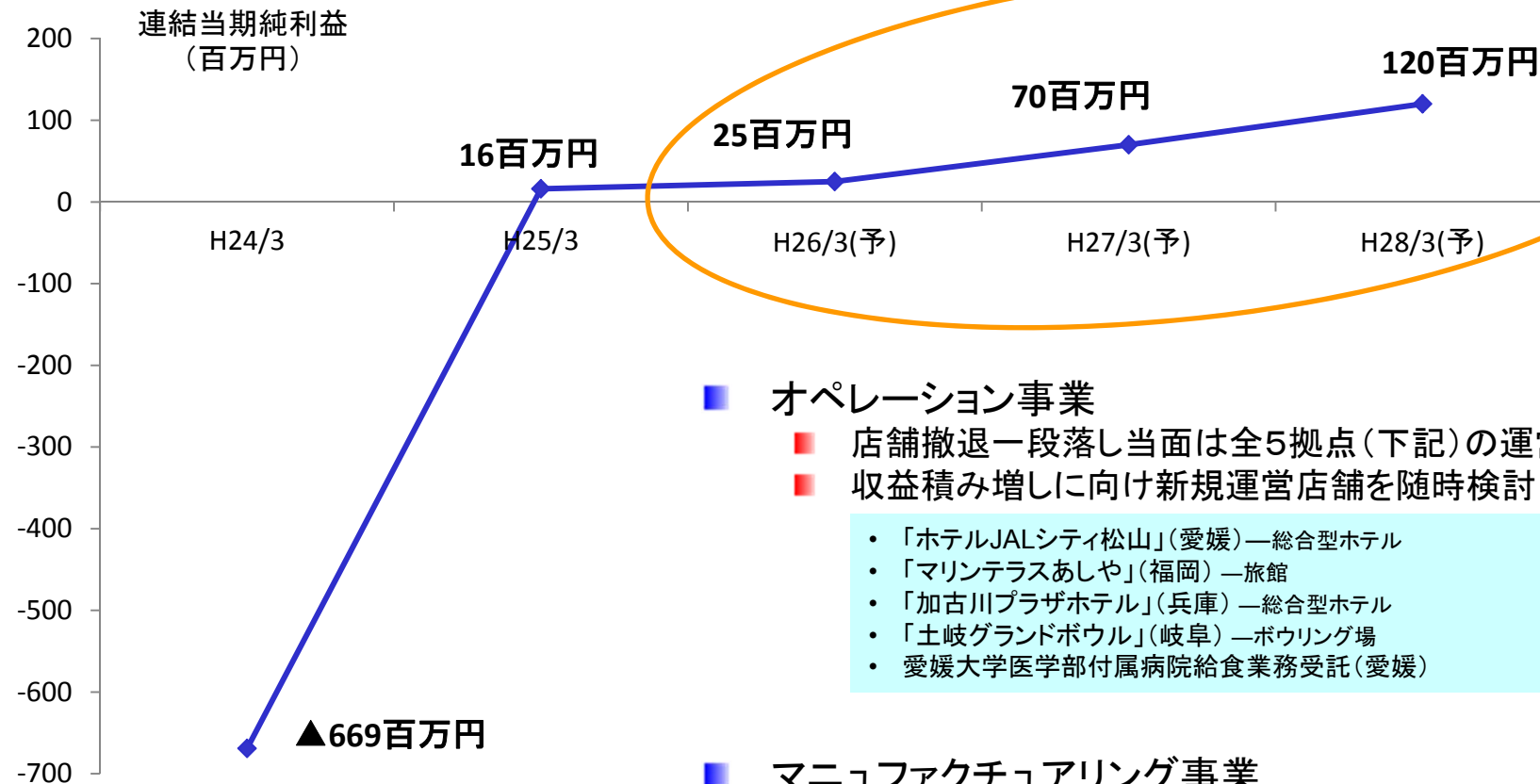
5. 今後の事業の見通し ② IPO案件



5. 今後の事業の見通し ③ マーチャント・バンキング事業



5. 今後の事業の見通し ④ オペレーション事業・マニュファクチュアリング事業



■ オペレーション事業

- 店舗撤退一段落し当面は全5拠点(下記)の運営に集中
- 収益積み増しに向け新規運営店舗を随時検討

- ・「ホテルJALシティ松山」(愛媛)ー総合型ホテル
- ・「マリントラスあしや」(福岡)ー旅館
- ・「加古川プラザホテル」(兵庫)ー総合型ホテル
- ・「土岐グランドボウル」(岐阜)ーボウリング場
- ・愛媛大学医学部附属病院給食業務受託(愛媛)

■ マニュファクチュアリング事業

- 国内中小食品メーカーの裾野広く、当社ネットワークを活かした販路拡大、事業提携を検討
- ハンズオン投資の好事例とすべく引き続き経営改善を推進

リフト・スチーマー・Z
全自動パケット式蒸気熱殺菌冷却装置



6. 当社グループの経営理念

当社は小規模の「ブティック型マーチャント・バンク」として安定した収益を維持できる筋肉質の企業をめざしてまいります。



当社には、日本・アジアの金融界の歴史に残るIPO・M&A・資産証券化・国際金融の案件を実現してきたディールメーカーの「ノウハウ」と「組織」と「ネットワーク」があります。

少数精鋭の利点を生かした機動的な動きを通じて、収益機会を確実に捕捉し、国内外の幅広いビジネス開拓を目指してまいります。



7. 当社グループのCSR活動

当社は「北京大学東北アジア区域一体化研究センター」及び「中国社会科学院日本研究所」と連携し、日中友好を目指した学術研究を支援しております。

これまで、当社の主催または共催により開催したフォーラムにおいて、「日本による中国国債際購入」「中国による日本国債購入」「日本円・人民元の直接交換」「日本円・中国元による合成通貨の創設」など、日中経済の重要なテーマについて、活発な議論が行われてまいりました。

平成21年8月26日
フォーラム「アジア通貨協力の選択」(北京)



平成23年9月1日、11月25日
「東京フォーラム2011」(東京)の開催





II. 株式会社アドメテックのご紹介

1. アドメテックの会社概要



会社概要

商 号	株式会社アドメテック
本 社	愛媛県松山市文京町3 愛媛大学社会連携推進機構3階
資本金	3,250万円
設 立	平成15年9月4日
代表者	代表取締役社長 中住 慎一
大株主	マーチャント・バンカーズ株式会社(当社) 22.9% 投資事業有限責任組合えひめベンチャーファンド2004 中住 慎一
従業員数	4名
業務内容	腫瘍の治療を目的とした医療機器の研究開発

沿 革

平成15年9月	愛媛大学発ベンチャー企業として会社設立
平成16年12月	えひめ地域ミニ・コンソーシアム研究開発支援事業採択決定
平成17年5月	愛媛大学内にラボを新設
平成17年7月	平成17年度中小企業創業・経営革新等支援補助事業(中小企業・ベンチャー挑戦支援事業のうち実用化研究開発事業)交付決定
平成17年8月	愛媛県未来型知識産業創出支援事業採択決定
平成18年5月	平成18、19年度愛媛県アクティブ・ベンチャー支援事業採択決定
平成20年9月	第一種医療機器製造販売業の許可を取得
平成20年11月	ヒト子宮頸部上皮内病変治療用装置の開発完了
平成21年5月	第一種動物用医療機器製造販売業の許可を取得
平成21年9月	動物向け焼灼医療装置「AMTC200」販売開始
平成23年9月	経済産業省平成23年度「課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業」実証事業に採択決定
平成24年5月	子宮頸部高度異形成の医療機器探索的治験を愛媛大学医学部付属病院産婦人科において開始
平成24年7月	マーチャント・バンカーズ株式会社が資本参加

2. アドメテックの製品 ① 動物用医療機器(製品化済み)

動物用 焼灼(しょうしゃく)治療装置 「AMTC200」

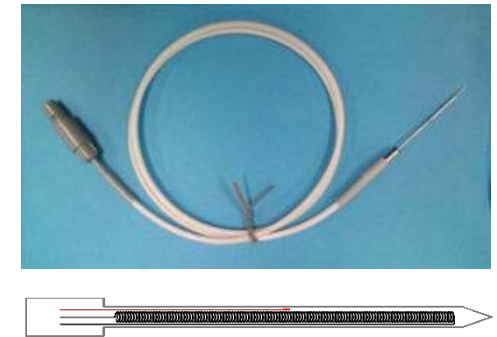
腫瘍等の患部に約60℃程度の入熱を行い焼灼

国内100以上の動物病院に導入済み
症例数約500件

機器本体



焼灼子



動物臨床事例 ① 治療前



治療後58日目



血管周皮腫：通常は断脚が選択される症例だが、当該治療で断脚が回避でき、58日後には治癒した。

動物臨床事例 ② 治療前



治療後2週間



悪性組織球腫：治療前は捕食困難、通常は下顎切断が選択される症例だが、当該治療により口腔機能が温存でき、腫瘍も退縮、高QOLを得た。

2. アドメテックの製品 ② ヒト用医療機器(治験中)

ヒト子宮頸部高度異形成用治療機器 「AMTC400」

有効な医薬品のないヒト子宮頸部高度異形成(子宮頸癌の前癌病変)の治療装置

愛媛大学医学部附属病院における医療機器探索的治験(PHⅡ相当)がこのほど好結果で終了

今秋から医療機器検証的治験(PHⅢ相当)に入る予定

患部に穿刺する加熱針
(針部の長さ7mm)



機器本体(全高約180cm)





【お問い合わせ先】

マーチャント・バンカーズ株式会社 経営管理部

TEL: 03-3502-4910 FAX: 03-3502-4915

E-mail: info@mbkworld.co.jp URL: <http://www.mbkworld.co.jp/>

本資料に記載されている計画・戦略・見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待・見積もり・予想に基づいています。これらの期待・見積もり・予想は、経済情勢や競争環境の変化等の潜在的リスク・不確実な要素、仮定の影響を受けますので、実際の実績は見通しから大きく異なる可能性があります。したがってこれらの将来予想に関する記述に全面的に依拠することは差し控えるようお願いいたします。また、当社は新しい情報・将来の出来事などにに基づきこれらの将来予測を更新する責務を負うものではありません。